



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 コビキタス

コード番号 3858 URL <http://www.ubiquitous.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐野 勝大

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 森 正章

TEL 03-5908-3451

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第2四半期の業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	408	29.9	△106	—	△104	—	△105	—
27年3月期第2四半期	314	△26.6	△193	—	△191	—	△190	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	△10.56	—
27年3月期第2四半期	△21.31	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第2四半期	3,060	2,927	94.8
27年3月期	2,019	1,816	88.2

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 2,901百万円 27年3月期 1,782百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,150	29.9	18	—	19	—	16	—	1.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	10,228,600 株	27年3月期	9,311,900 株
28年3月期2Q	— 株	27年3月期	— 株
28年3月期2Q	9,945,910 株	27年3月期2Q	8,950,798 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外です。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]P3「1.(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)	7
(金融商品関係)	7
(有価証券関係)	7
(セグメント情報等)	8
(1株当たり情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間における売上高合計は408,723千円、平成27年5月14日発表の通期業績予想に対し35.5%の達成率となりました。形態別の内訳では、ソフトウェア使用許諾売上高222,519千円、サポート売上高28,195千円、ソフトウェア受託開発売上高149,197千円、製品売上高1,010千円及びその他の売上高7,801千円となりました。

なお、第1四半期会計期間より、報告セグメントを、従来の「組込みソフトウェア事業」及び「サービス事業」から、「コネクティビティ事業」及び「組込みソフトウェア事業」の2つのセグメントに変更しております。

セグメント及び分野別の売上内訳及び事業状況は、以下のとおりであります。

セグメント	分野	当第2四半期累計期間		前第2四半期累計期間		増減率 (%)
		売上高 (千円)	売上割合 (%)	売上高 (千円)	売上割合 (%)	
コネクティビティ事業	組込みネットワーク関連	150,121	36.7	150,844	47.9	△0.5
	サービス&ソリューション関連	80,111	19.6	29,356	9.3	172.9
	小計	230,232	56.3	180,201	57.3	27.8
組込みソフトウェア事業	データベース関連	69,182	16.9	94,096	29.9	△26.5
	高速起動関連	109,308	26.7	40,434	12.8	170.3
	小計	178,491	43.7	134,531	42.7	32.7
合計		408,723	100.0	314,732	100.0	29.9

(注) 前第2四半期累計期間の数値を、セグメント変更後の数値に組み替えております。

■コネクティビティ事業

コネクティビティ事業の売上高は、前年同四半期比27.8%増となりました。その主な要因は、組込みネットワーク関連及びサービス&ソリューション関連で受託開発売上を獲得したこと、及びサービス&ソリューション関連において、電力小売事業に参入予定の事業者からのスマートエネルギー関連のロイヤルティ売上及び利用料収入等の計上によるものです。なお、コネクティビティ事業全体の売上高は、当第2四半期累計期間に対する当初見込額をやや上回る結果となりました。

組込みネットワーク関連は、「Ubiquitous Network Framework」、「Ubiquitous DLNA」、「Ubiquitous ECHONET Lite」、「Ubiquitous DTCP」関連製品等が、デジタル家電やスマートホーム関連等の既存顧客からの受託開発売上を中心に計上いたしました。また、車載分野ではスマートフォンと車載機器を接続する「Ubiquitous Miracast™ Solution」が採用された海外仕向けの自動車の出荷がスタートし、ロイヤルティ売上を計上いたしました。

平成27年7月に、「Ubiquitous ECHONET Lite」が株式会社アットマークテクノのWi-SUN対応ゲートウェイ用ハードウェア「Armadillo-Box WS1」に対応したことを発表いたしました。

サービス&ソリューション関連は、電力小売事業に参入予定の事業者との間でのスマートエネルギー関連の製品の出荷増に伴うロイヤルティ売上や複数の企業、事業者より受注したHEMS(Home Energy Management System:電力の見える化や制御を含む宅内の電力管理システム)ソリューション関連の受託開発売上を中心に計上いたしました。

平成27年8月に、「セキュアドローン協議会」の初年度成果発表において、フランスParrot社のドローン(無人航空機)BeBapを利用した自動航行制御とIoT(Internet of Things:モノのインターネット)クラウドプラットフォーム「dalchymia(ダルクュミア)」を利用したドローンの制御データと撮影データの送信、Webでのリモート表示、制御のデモを開発、デモンストレーションに成功したことを発表いたしました。

また、平成27年10月に、楽天株式会社との間で、住居内のHEMS機器から収集したエネルギー情報を活用し、エネルギー関連サービスをクラウドで提供する企業向けプラットフォームの共同開発に関する基本契約に合意したことを発表いたしました。

■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア事業の売上高は、前年同四半期比32.7%増となりました。

データベース関連は車載機器、産業機器、OA機器等の既存顧客からのロイヤルティ売上を中心に計上いたしました。

平成27年10月に、「Ubiquitous DeviceSQL」が、ティアック株式会社のハイレゾ対応ポータブルヘッドホンアンブレ/プレーヤー「HA-P90SD」に採用されたことを発表いたしました。

高速起動関連は、車載機器の新規、既存顧客からのロイヤルティ売上を中心に、受託開発売上、及び新規顧客からの案件も含めた契約時一時金売上を計上いたしました。既存顧客の搭載製品の出荷が好調に推移しており、売上に貢献しております。引き続きカーナビゲーションシステム等車載向けの端末を中心に、複数社との間で大・中規模案件の研究開発、及び商品化に向けた新規案件の受注も含めた実装を継続しております。また、海外案件も活発化してきており、いくつかの評価案件を獲得しております。

営業費用面では、役員及び従業員等の人件費として253,243千円(前年同四半期比0.5%減)及び、経費として324,740千円(同4.2%減)を計上いたしました。なお、これらの人件費及び経費のうち研究開発費は56,814千円(同14.9%減)です。

以上の結果、営業損失106,364千円(前年同四半期営業損失193,148千円)、経常損失104,141千円(同経常損失191,706千円)、四半期純損失105,102千円(同四半期純損失190,823千円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末より1,040,572千円増加して3,060,293千円となりました。流動資産は、有価証券及び仕掛品の増加等により、前事業年度末より1,071,621千円増加して2,827,601千円となりました。固定資産は、建物及びソフトウェアの減少等により31,048千円減少して232,692千円となりました。

一方、負債は、前事業年度末より70,283千円減少して133,186千円となりました。流動負債は、未払金及び資産除去債務の減少等により前事業年度末より67,522千円減少して100,072千円となり、固定負債は33,113千円となりました。

純資産は、前事業年度末より1,110,856千円増加して2,927,107千円となりました。資本金及び資本剰余金は、新株予約権の行使により前事業年度末からそれぞれ614,762千円増加して資本金1,373,234千円、資本剰余金1,343,234千円となり、利益剰余金は、四半期純損失105,102千円の計上により155,119千円となりました。

以上により、自己資本比率は、前事業年度末の88.2%から94.8%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点において平成27年5月14日発表の通期業績予想を見直すべき要素はなく、同予想を据え置くこととします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成27年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	997,161	819,653
売掛金	278,245	279,025
有価証券	399,936	1,699,863
商品及び製品	4,970	4,752
仕掛品	2,297	5,124
前払費用	20,654	12,342
1年内回収予定の差入保証金	47,031	—
その他	5,682	6,839
流動資産合計	1,755,979	2,827,601
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	50,098	45,544
工具、器具及び備品(純額)	1,465	3,600
有形固定資産合計	51,564	49,144
無形固定資産		
ソフトウェア	50,576	29,566
ソフトウェア仮勘定	5,498	4,985
無形固定資産合計	56,075	34,552
投資その他の資産		
投資有価証券	121,050	113,943
差入保証金	35,050	35,050
投資その他の資産合計	156,101	148,994
固定資産合計	263,740	232,692
資産合計	2,019,720	3,060,293
負債の部		
流動負債		
買掛金	21,932	23,221
未払金	69,978	21,794
未払費用	10,487	16,145
未払法人税等	4,755	5,737
未払消費税等	23,011	13,144
前受金	15,329	15,722
預り金	3,856	4,307
資産除去債務	18,244	—
流動負債合計	167,595	100,072
固定負債		
繰延税金負債	21,299	18,530
資産除去債務	14,574	14,583
固定負債合計	35,873	33,113
負債合計	203,469	133,186
純資産の部		
株主資本		
資本金	758,471	1,373,234
資本剰余金	728,471	1,343,234
利益剰余金	260,221	155,119
株主資本合計	1,747,164	2,871,587
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	34,866	30,057
評価・換算差額等合計	34,866	30,057
新株予約権	34,220	25,461
純資産合計	1,816,251	2,927,107
負債純資産合計	2,019,720	3,060,293

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高		
ソフトウェア使用許諾売上高	221,924	222,519
サポート売上高	19,866	28,195
ソフトウェア受託開発売上高	70,100	149,197
製品売上高	832	1,010
その他の売上高	2,009	7,801
売上高合計	314,732	408,723
売上原価	193,438	179,129
売上総利益	121,293	229,594
販売費及び一般管理費		
役員報酬	25,368	31,948
給料及び手当	108,728	114,477
法定福利費	13,519	16,002
広告宣伝費	8,541	9,913
減価償却費	—	2,801
不動産賃借料	18,172	18,770
支払手数料	41,288	45,742
消耗品費	1,693	1,957
研究開発費	66,732	56,814
その他	30,397	37,530
販売費及び一般管理費合計	314,442	335,958
営業損失(△)	△193,148	△106,364
営業外収益		
受取利息	279	194
有価証券利息	183	1,052
受取配当金	427	610
雑収入	566	383
営業外収益合計	1,457	2,240
営業外費用		
為替差損	15	17
営業外費用合計	15	17
経常損失(△)	△191,706	△104,141
特別利益		
新株予約権戻入益	209	—
特別利益合計	209	—
特別損失		
減損損失	4,749	—
特別損失合計	4,749	—
税引前四半期純損失(△)	△196,246	△104,141
法人税、住民税及び事業税	1,335	1,432
法人税等調整額	△6,758	△471
法人税等合計	△5,422	960
四半期純損失(△)	△190,823	△105,102

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純損失(△)	△196,246	△104,141
減価償却費	79,492	30,688
減損損失	4,749	—
株式報酬費用	2,735	897
受取利息及び受取配当金	△706	△804
有価証券利息	△183	△1,052
売上債権の増減額(△は増加)	△38,713	△780
たな卸資産の増減額(△は増加)	△512	△2,609
営業債務の増減額(△は減少)	△10,283	1,288
未払金の増減額(△は減少)	△15,888	△17,520
未払費用の増減額(△は減少)	926	5,657
未払消費税等の増減額(△は減少)	8,600	△9,866
前受金の増減額(△は減少)	7,078	392
預り金の増減額(△は減少)	△162	451
その他	△9,192	8,416
小計	△168,306	△88,983
利息及び配当金の受取額	1,047	1,694
法人税等の支払額	△1,145	△2,290
法人税等の還付額	1,374	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△167,028	△89,578
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の純増減額(△は増加)	△199,911	△1,299,926
有形固定資産の取得による支出	△2,221	△33,245
資産除去債務の履行による支出	—	△18,244
無形固定資産の取得による支出	△14,296	△3,412
定期預金の払戻による収入	300,000	300,000
差入保証金の回収による収入	—	47,031
投資活動によるキャッシュ・フロー	83,571	△1,007,797
財務活動によるキャッシュ・フロー		
株式の発行による収入	10,307	1,219,868
財務活動によるキャッシュ・フロー	10,307	1,219,868
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△73,149	122,492
現金及び現金同等物の期首残高	537,986	697,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 464,836	※ 819,653

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

新株予約権の行使により、当第2四半期累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ614,762千円増加し、当第2四半期会計期間末において資本金が1,373,234千円、資本剰余金が1,343,234千円となっております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
現金及び預金勘定	664,836千円	819,653千円
有価証券勘定(譲渡性預金)	100,000	—
預入期間が3か月を超える定期預金	△300,000	—
現金及び現金同等物	464,836	819,653

(金融商品関係)

有価証券が、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、四半期貸借対照表計上額に前事業年度の末日と比較して著しい変動が認められますが、当第2四半期貸借対照表計上額と時価との差額及び前事業年度に係る貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(有価証券関係)

その他有価証券が、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、前事業年度の末日に比べて著しい変動が認められます。

その他有価証券

前事業年度(平成27年3月31日)

	取得原価 (千円)	貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
(1) 株式	69,518	121,050	51,531
(2) 債券	—	—	—
(3) その他	399,936	399,936	—
合計	469,454	520,986	51,531

当第2四半期会計期間(平成27年9月30日)

	取得原価 (千円)	四半期貸借対照表計上額 (千円)	差額 (千円)
(1) 株式	69,518	113,943	44,425
(2) 債券	—	—	—
(3) その他	1,699,863	1,699,863	—
合計	1,769,381	1,813,806	44,425

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コネクティビティ事業	組込みソフトウェア事業	
売上高			
外部顧客への売上高	180,201	134,531	314,732
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	180,201	134,531	314,732
セグメント利益又は損失(△)	△172,459	△20,688	△193,148

(注)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

II 当第2四半期累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		合計
	コネクティビティ事業	組込みソフトウェア事業	
売上高			
外部顧客への売上高	230,232	178,491	408,723
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	230,232	178,491	408,723
セグメント利益又は損失(△)	△132,897	26,532	△106,364

(注)セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期会計期間より、IoT時代のソリューションプロバイダーを目指し事業体制を再編したことにより、報告セグメントを従来の「組込みソフトウェア事業」及び「サービス事業」から、「コネクティビティ事業」及び「組込みソフトウェア事業」の区分に変更しております。

なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

変更後の事業内容	提供する製品・サービス
コネクティビティ事業	組込み機器向けのネットワークソフトウェア、クラウドプラットフォーム、スマートサービスソリューション
組込みソフトウェア事業	スマートデバイス的高速起動技術、デバイスデータ管理ソリューション、車載機器向けLinuxソリューション

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
1株当たり四半期純損失金額	△21円31銭	△10円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純損失金額(千円)	△190,823	△105,102
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る四半期純損失金額(千円)	△190,823	△105,102
普通株式の期中平均株式数(株)	8,950,798	9,945,910
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前事業年度末から重要な変動があったものの概要	該当事項はありません。	該当事項はありません。

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失金額であるため記載しておりません。